

# 第2学年 社会科 学習指導案

日 時 2025年11月27日（木）

第2校時 9:45～10:35

対 象 第2学年D組 39名

会 場 2年D組教室

## 1 単元名

日本の諸地域 第3節近畿地方 および 第6節東北地方……「中学生の地理」（帝国書院）

## 2 単元の目標

- ・近畿地方や東北地方の自然環境や歴史・伝統文化の特色や、それらを生かした生活や産業の様子について理解する。
- ・近畿地方や東北地方では、自然環境や歴史・伝統文化がどのように守られているか、また、そうしたことが地域の生活や産業にどのような影響を与えていたかということについて、自ら課題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・近畿地方や東北地方の自然環境や歴史、伝統文化と生活や産業の関連について関心を持ち、主体的に追及する態度を養う。

## 3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①近畿地方や東北地方の自然環境や歴史、伝統文化の特色や、それらを生かした人々の生活や産業の様子について理解している。	①近畿地方や東北地方では、自然環境や歴史・伝統文化がどのように守られているか、また、そうしたことが地域の生活や産業にどのような影響を与えていたかということについて、自ら課題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。	①近畿地方や東北地方の自然環境や歴史、伝統文化と生活や産業の関連について関心を持ち、主体的に追及している。

## 4 単元指導計画（全12時間扱い）

時	目標	学習内容・学習活動	評価
1	・近畿地方や東北地方の自然環境や歴史・伝統文化の特色や、それらを生かした生活や産業の様子について理解する。	・ワークシートを用い、資料を参考に近畿地方や東北地方の自然環境や歴史・伝統文化の特色や、それらを生かした生活や産業の様子について確認する。	アー①【ワークシート】
2～8	・近畿地方や東北地方では、自然環境や歴史・伝統文化がどのように守られているか、また、そうしたことが地域の生活や産業にどのような影響を与えていたかということについて、自	・単元の目標を踏まえ、各自で設定した課題について考察し、近畿地方と東北地方を比較しながらスライドを用いて発表する。また、そのための準備や練習を行う。	イー①【発表】

	ら課題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。		
9 ～ 11 本 時	・近畿地方や東北地方の自然環境や歴史、伝統文化と生活や産業の関連について関心を持ち、主体的に追及している。	・お互いの発表を受けて出てきた疑問を、Google フォームを活用して伝え合う。また、その疑問について考察し、回答する。	イー①【発表】 ウー① 【Google スプレッドシート、授業態度】
12	・近畿地方や東北地方では、自然環境や歴史・伝統文化がどのように守られているか、また、そうしたことが地域の生活や産業にどのような影響を与えているかということについて、これまでの学習を踏まえ、多面的・多角的に考察し、表現する。	・これまでの学習ないようについて、教師からの補足の説明等を聞き、自分の考えをまとめる。	イー①【レポート】

## 5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（個別最適な学び）



発表に対する疑問や提案を伝える場面を意図的に設定し、それについて発表者が調べ直したり考え方直したりする取り組みを通して学びを深める。今回の単元では、Google フォームで疑問や提案を募り、スプレッドシート上で視覚化することで、生徒たちだけではなく、教員も進捗状況を確認しやすいようにしておく。また、疑問を解決した場合には、直接疑問を提示してくれた生徒のところまで行き、解決した内容を伝達することを目指している。

## 6 本時の指導（全12時間中の10時間目）

### （1）本時の目標

- 自分がされた質問に対して、質問者とやり取りをしながら回答を考えることで、テーマに対する自身の考えを深める。

### （2）本時の展開

	○学習活動 ○主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の流れを確認する。</li> <li>○前時までに出た質問を確認する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 前時までに質問できていない生徒については、最初のうちに質問するように指導する。
展開42分	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○他の生徒から出た質問に対して回答を考えることで、自身の学習を深める</li> <li>○考えた回答は、全体での発表の前に質問者にフィードバックして確認することで、回答をより良いものに仕上げる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 回答は質問者が理解し、納得するところを目指し、不十分な回答にならないように準備することを、質問者、回答者の双方に指導する。 ◆イー①【発表】 ◆ウー①【Google スプレッドシート、授業態度】

ま と め 3 分	○次回の発表の流れについて確認をする。 ○本時の振り返りを行う。	□質問者と回答者のやりとりが不十分だと感じる生徒 がいた場合、発表までの時間も活用するように指導す る。
-----------------------	-------------------------------------	--